

平成 30 年度第 1 回岩手県在宅医療推進協議会 会議録

日時：平成 31 年 10 月 18 日 15 時 00 分から 16 時 30 分まで

場所：泉金ビル 3 階会議室

1 開会（省略）

2 協議・報告等

(1) 報告事項

ア 平成 30 年度の在宅医療関連施策の取組状況について（医療政策室）

平澤委員：研修等については、多職種の皆様にやっていただいているのだから、可能であれば、研修受講者等を公表する仕組み等を作ってはどうか。

事務局：比較的在宅医療の取組が進まれている地域の職能団体においては、新たな手技の取得など、実践的研修をやられている所もあるし、一方で、在宅医療はこれから、という地域においては、先進地域の講師を招聘し、在宅医療の理解を深めることを目的とした講演会を開催するなど、地域の実情に合わせて研修会を組んでいただいている。

このように、地域や各職種等の実情に合わせた研修としているため、現段階では研修受講者を公表するような仕組みは考えていないものであるが、頂いた意見については検討をさせていただきたい。

イ 岩手県の在宅医療の状況について（医療政策室）

※ 説明は省略、質疑等はなし

ウ 地域包括ケアシステム構築に向けた取組状況について（長寿社会課）

※ 説明は省略、質疑等はなし

(2) 協議事項

ア 在宅医療・介護連携推進事業の手引き 岩手県版補足資料第 2 版について（長寿者黄赤）

佐々木氏（下田委員代理）：様々な事項を掲載頂いており、盛岡市においても、貴重な資料として利用している。他の市町村等についても、事業に取組まれる際の参考資料等として、有意義に活用いただいているのではないかと。

事務局：引き続き、先行事例等の記載など内容の充実等に向けて取組みを進めていきたい。

イ 各団体の在宅医療推進に向けた取組等の状況等について（各委員）

各委員から、別添資料をもとに、現状の取組や課題、県や他の団体に支援を求めること等について、説明を頂いた。

全県的な取組の推進に向けて、県、各団体がそれぞれの立場から取組みを進めて

いくこと、医療介護基金等を活用した事業化など、必要な支援があれば、県として検討していくことで合意を得た。

### 3 その他

県薬剤師会より、ケアマネージャ情報カード（お薬手帳に貼付するもの）や在宅訪問薬剤管理指導の広報用リーフレットの紹介があった。